

授業科目名	舞台芸術史	担当形態	講義		
		開講学期	春学期		
担当教員	田尾下 哲	単位	2	年次	2

＝授業のテーマ及び到達目標＝

ミュージカル、オペラを中心とする音楽劇がどのような歴史で今日に繋がっているか、映像を交えて鑑賞しながら、今日的な舞台がどうあるべきかを考える。

＝履修の条件と学習の方法＝

舞台に興味がある人は、舞台に立つ人、音楽スタッフ、舞台スタッフ、制作に関わらず、参加可能。鑑賞者として舞台に興味がある人も参加可能です。

＝授業の概要＝

ミュージカルを中心とするが、本講義では、音楽劇がどのようにして誕生、普及し、今後の展望はどうかをミュージカルに限らず、オペラ、2.5次元舞台まで取り上げ、論じていく。古代ギリシャの時代から、朗唱とドラマは結びついて表現されてきた。非日常的な、歌うという行為でドラマを表現する音楽劇のうち、オペラやオペレッタの歴史も触れながら、アメリカ（ブロード・ウェイ）、イギリス（ウェスト・エンド）を中心に、フランス、ドイツ、東欧の作品にも触れながらミュージカルの表現を主に映像を見ながら、俯瞰的に学ぶ。（※ただし、取り上げる映像などは授業の進行を見ながら、適宜変更する可能性があります。）

＝授業計画＝

第1回 音楽劇の歴史を学ぶにあたり、世界最古の音楽劇映像やミュージカル映画を見る。その後、現代における最新の音楽劇映像を見て、現在の音楽劇シーンを知る。

第2回 ミュージカルが上演される過程を知る（1）。劇団四季「ライオンキング」

第3回 トニー賞の歴史（1）。

第4回 トニー賞の歴史（2）。

第5回 ミュージカルが上演される過程を知る（2）。ブロードウェイ「コーラス・ライン」

第6回 ミュージカル映画の舞台裏。「ウェスト・サイド・ストーリー」

第7回 ワークショップ（1）。野田秀樹

第8回 ワークショップ（2）。ピーター・ブルック

第9回 映画になった舞台。バズ・ラーマン「ラ・ボエーム」

第10回 芝居とミュージカルの違いを知る（1）。芝居版「レ・ミゼラブル」

第11回 芝居とミュージカルの違いを知る（2）。芝居版「レ・ミゼラブル」

第12回 芝居とミュージカルの違いを知る（3）。ミュージカル版「レ・ミゼラブル」

第13回 芝居とミュージカルの違いを知る（4）。ミュージカル版「レ・ミゼラブル」

第14回 現代の舞台より（1）。『ダンガンロンパ THE STAGE 2016』 リハーサルより

第15回 現代の舞台より（2）『ダンガンロンパ THE STAGE 2016』 本番より

＝テキスト（必携）＝

特になし

＝参考書・参考資料（必携）＝

特になし

＝成績評価の方法と評価の基準＝

舞台芸術史の到達目標は、国内外の多くの映像を多く見ることを通じて、「日本のみならず世界的にどのような舞台が受け入れられているかを時代とともに理解し、自分の興味や目標との関連を見だし、今後の舞台の受容展開を予測し、自分の将来との関連性を述べる事が出来るようになること」である。授業態度、出席と課題レポートを指標にして、総合的にその到達度合いを測り、以下の通り評価する。

- A: 適切に鑑賞した作品を理解し、自分の将来との関連を見だし、特筆すべき水準の考察を示すことが出来ている。
- B: 鑑賞した作品に対し、優れた視点で分析、理解できている。
- C: 鑑賞した作品に対し、一応の解釈が提示できている。
- D: 鑑賞した作品に対し、最低限の解釈を提示できている。
- F: 鑑賞した作品に対し適切な解釈が出来ない。3分の1を越えて授業を欠席した。

＝その他＝